



生物多様性シンポジウム

# 奄美群島の生物多様性： その魅力を再発見



平成 28 年

**2月21日(日)**

13:00~17:00 (12:30 受付開始)

名瀬公民館金久分館 2F 研修室  
入場無料

**開催の辞**

13:00-13:05 住吉 文夫 (鹿児島大学・理事)

**講演**

13:05-13:30 「湯湾岳の希少植物」 山下 弘 (植物写真家)

13:30-13:55 「オキナワウラジロガシ林の維持機構」 鶴川 信 (鹿児島大学農学部・准教授)

13:55-14:20 「地域資源としての奄美の海洋生物」 興 克樹 (奄美海洋生物研究会・代表)

14:20-14:45 「奄美群島の藻類・海草類と生育環境」 寺田 竜太 (鹿児島大学水産学部・准教授)

**休憩**

14:45-14:55 「なぜオオトラツグミを守るのか：希少種と生物多様性の保全を考える」

水田 拓 (環境省奄美野生生物保護センター・自然保護専門員)

15:20-15:45 「人間とあまくろの交差点：野生動物の観光利用を考える」

鈴木 真理子 (鹿児島大学島嶼研奄美分室・プロジェクト研究員)

**コメント 生物多様性と人間の関わり：先史時代と現代**

15:45-15:55 高宮 広土 (鹿児島大学島嶼研・教授)

15:55-16:05 鈴木 祥之 (環境省奄美野生生物保護センター・上席自然保護官)

**休憩**

**パネルディスカッション**

16:15-16:55 司会 藤井 琢磨 (鹿児島大学島嶼兼奄美分室・特任助教)

パネラー 上記講演者、桑原 季雄 (鹿児島大学法文学部・教授)、大海 昌平 (奄美両生類研究会・代表)

\* 近世から近代の先人達が奄美群島の生物多様性とどのように関わってきたか、現代の社会にも残るそのやり方も参考に、今後の関わり方を探っていきます。

**閉会挨拶**

16:55-17:00 鈴木英治 (鹿児島大学理学部・教授)

**日時** : 平成 28 年 2 月 21 日 (日) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

**会場** : 名瀬公民館金久分館 2F 研修室

**主催** : 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室、鹿児島大学重点領域 (環境)、「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」プロジェクト

**共催** : 環境省奄美野生生物保護センター

**後援** : 奄美市、奄美群島広域事務組合

**問い合わせ先** : 0997-69-4852 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室)

\* 終了後、参加して下さった皆さんと講演者、パネラーの皆さんとの交流タイムをもうけます。講演やパネルディスカッションで質問しにくかったことをもっと聞きたい、今後のために連絡先を交換したい、という皆さんはぜひお残りください。

\* 名瀬公民会金久分館には駐車場がありますが、使用できる台数が限られています。できるだけ公共交通機関でのご来場をお願いします (バス停「長浜入り口」下車すぐ)。

